

離婚と離婚家庭に関する調査研究

社会安全研究財団研究助成報告書

平成 14 年 3 月

離婚家庭問題研究会

目 次

調査結果の要約	1
調査結果の詳細	8
本研究の目的	9
第 I 部 離婚についての統計資料の分析	11
第 1 章 我が国の離婚の概要	11
第 1 節 離婚率の動向	11
第 2 節 離婚の理由	12
第 3 節 離婚により生じた悩み	13
第 4 節 離婚と子ども	14
第 5 節 離婚増加の社会的・文化的背景	14
1. 性別役割分業への批判の高まり	14
2. 離婚観の変化	14
3. 女性の経済力の向上	14
4. 破綻主義の風潮	15
第 I 部 我が国の離婚の概要 要約	15
第 II 部 離婚および離婚家庭に対する意識調査	16
第 1 章 調査の目的と調査の概要	16
第 1 節 調査の目的	16
第 2 節 調査の枠組み	16
第 2 章 学生調査	17
第 1 節 調査の実施状況	17
1. 調査対象者	17
2. 調査方法と期間	17
3. 有効回答者数	17
第 2 節 離婚に対する意識	17
1. 離婚に対する意識の実態	17
(1) 離婚に対する考え (Q2)	17
① 離婚に対する考えの全体的傾向	17
② 離婚に対する考えにおける性差	17
(2) 離婚する原因に対する考え (Q2)	21
① 離婚する原因に対する考えの全体的傾向	21
② 離婚する原因に対する考えにおける性差	22
(3) 離婚家庭の子どもに対する考え (Q2)	23
① 離婚家庭の子どもに対する考えの全体的傾向	23
② 離婚家庭の子どもに対する考えにおける性差	23
2. 離婚に対する意識の構造	25

(1) 因子分析による離婚に対する意識の構造の検討	25
(2) 離婚に対する意識の尺度構成	27
(3) 下位側面別に見た性差	27
第3節 結婚に対する意識	28
1. 結婚に対する意識の実態	28
(1) 結婚に対する考え (Q1)	28
① 結婚に対する考えの全体的傾向	28
② 結婚に対する考えにおける性差	28
(2) 結婚で得るもの・失うものに対する考え (Q1)	31
① 結婚で得るもの・失うものに対する考えの全体的傾向	31
② 結婚で得るもの・失うものに対する考えにおける性差	31
(3) 結婚の理由・動機 (Q1)	34
① 結婚の理由・動機の全体的傾向	34
② 結婚の理由・動機における性差	34
2. 結婚に対する意識の構造	35
(1) 因子分析による結婚に対する意識の構造の検討	35
(2) 結婚に対する意識の尺度構成	36
(3) 下位側面別に見た性差	36
第3節 離婚と離婚家庭に対する偏見意識と結婚に対する意識との関連	37
第Ⅱ部 離婚と結婚に対する意識調査 (学生調査) 要約	38
第3章 成人調査	40
第1節 調査の実施状況	40
1. 調査地域と標本抽出方法	40
(1) 調査地域	40
(2) 調査対象者	40
(3) 標本抽出方法	40
2. 調査方法と期間	40
(1) 調査方法	40
(2) 調査実施期間	40
(3) 調査実施機関	40
3. 調査数と回収数	40
(1) 調査数	40
(2) 有効回収数と未回収数の内訳	40
第2節 離婚に対する意識	41
1. 離婚に対する意識の実態	41
(1) 離婚に対する考え (Q4、Q6)	41
① 離婚に対する考えの全体的傾向	41
② 離婚に対する考えにおける性差	41
(2) 離婚する原因に対する考え (Q5)	46
① 離婚する原因に対する考えの全体的傾向	46

② 離婚する原因に対する考えにおける性差	47
(3) 離婚家庭の子どもに対する考え (Q7)	48
① 離婚家庭の子どもに対する考えの全体的傾向	48
② 離婚家庭の子どもに対する考えにおける性差	48
2. 離婚に対する意識の構造	50
(1) 因子分析による離婚に対する意識の構造の検討	50
(2) 離婚に対する意識の尺度構成	52
(3) 下位側面別にみた性差と年代差の検討	52
第3節 結婚に対する意識	53
1. 結婚に対する意識の実態	53
(1) 結婚に対する考え (Q2)	53
① 結婚に対する考えにおける全体的傾向	53
② 結婚に対する考えにおける性差	54
(2) 結婚によって得られるもの・失うものに対する考え (Q3)	56
① 結婚によって得られるもの・失うものに対する考えの全体的傾向	56
② 結婚によって得られるもの・失うものに対する考えにおける性差	56
2. 結婚に対する意識の構造	58
(1) 因子分析による結婚に対する意識の構造の検討	58
(2) 結婚に対する意識の尺度構成	59
(3) 下位側面別にみた性差と年代差の検討	59
第4節 離婚と離婚家庭に対する偏見意識と結婚に対する意識との関連	60
第Ⅱ部 離婚と結婚に対する意識調査 (成人調査) 要約	62
第Ⅲ部 離婚家庭の母親と子どもへの面接調査	64
第1章 離婚家庭の母親への面接調査	64
第1節 調査の目的	64
第2節 調査の概要	64
1. 調査対象者	64
2. 調査方法	64
3. 調査時期と場所	64
4. 調査内容	64
第2章 調査結果	64
第1節 離婚が母親に与える心理的影響	64
1. 対象喪失	64
2. 自己像の変容	65
第3章 離婚家庭の子どもへの面接調査	66
第1節 調査の目的	66
第2節 調査の概要	66
1. 調査対象者	66
2. 調査方法	66
3. 調査時期	66

4. 調査内容	66
第4章 調査結果	66
第1節 離婚が子どもに与える心理的影響	66
1. 対象喪失	66
2. 自尊感情の低下	67
3. 結婚観の変容	67
第Ⅲ部 <u>離婚が母親と子どもに与える心理的影響</u> 要約	67
第Ⅳ部 総括	69
1. 社会的観点から見た離婚—離婚に対する偏見意識について	69
(1) 離婚に対する偏見意識の全体的傾向	69
(2) 離婚に対する偏見意識の男女差と世代差	69
2. 離婚当事者の観点から見た離婚—離婚が母親と子どもに与える心理的影響	70
(1) 離婚家庭が感じる社会からの偏見意識	70
(2) 離婚家庭の母親と子どもに生じる対象喪失	70
3. 今後への提言	70
引用文献	72

調査代表者 詫摩 武俊 (東京国際大学教授)

調査企画 松井 豊 (筑波大学助教授)

調査企画・執筆 小田切紀子 (東京国際大学専任講師) 調査結果の要約、
調査結果の詳細(本研究の目的、
第Ⅰ部、第Ⅱ部第1章～第2章、
第Ⅲ部、第Ⅳ部)
宇井美代子 (筑波大学大学院) 調査結果の詳細(第Ⅱ部第3章)